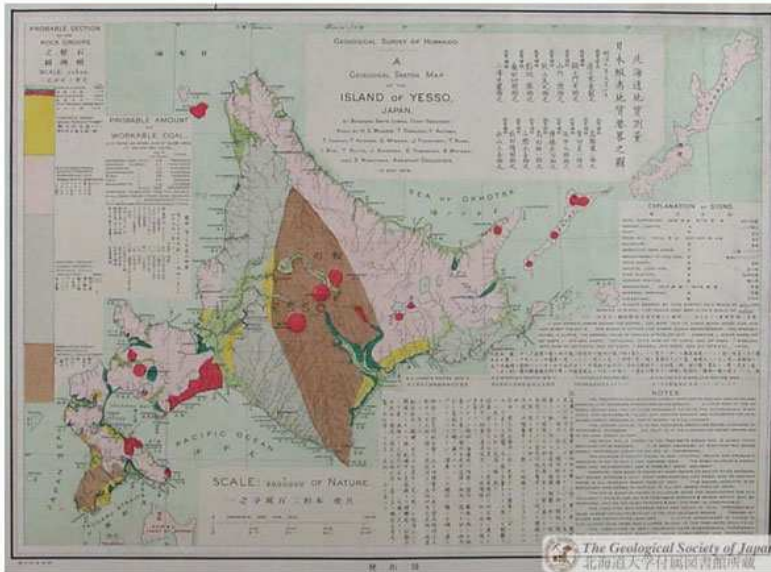


足寄の自然

「地質の日」記念

十勝 最古の石と 最新の石をみよう



5月10日は、1876年（明治9年）、北海道開拓使技師のアメリカー人ライマン（B. S. Lyman）が、日本最初の広域地質図幅「日本蝦夷地質要略之図」（左の写真）を刊行した日です。「地質の日」として、全国で地質観察会や研究を紹介する行事が計画されています。

1876年は、アメリカ・カリフォルニア州で、デスモスチルスが最初に発見された年でもあります。足寄ではデスモスチルスの研究史と「十勝の最古と最新の石」を確認する日としませんか。

5月10日（日）

- 10:00 博物館集合 デスモスチルス観察
- 11:00 足寄町螺澗へ移動・昼食（シオフッカ駐車場付近）
- 12:00 十勝最古の岩体：枕状溶岩・石灰岩など観察
- 13:00 十勝最新の石：「シオフッカ」の石灰華観察
- 14:00 現地で解散

※解説は一般向けとしますが、参加は年少者でも可能です。

申込はいりません。参加費は無料です。
防寒対策をし、必ず長靴を用意してください。
博物館からの移動は各自の車でおねがいします。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる

No. 102

2009年 3月25日発行

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

E メール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp>（博物館だよりpdf版あり）

化石工房 化石体験 レプリカづくりに ついに 恐竜が出現

化石工房:フォストリーあしよろ では、ふたつの化石体験をいつでも受け入れていきます。その一つ「レプリカづくり」の化石種類の中に、ついに恐竜が登場します。それは
スピノサウルス。

映画「ジュラシックパークⅢ」では、あのティラノサウルスを圧倒するように描かれたスピノサウルス。この夏、千葉県幕張メッセで開催される恐竜博「恐竜 2009 砂漠の奇跡!! 恐竜ミイラ化石と世界最大級の恐竜」(7月18日～9月27日)に、中国のマメンキサウルスなどとともにサハラ砂漠のスピノサウルスがやってきます。

レプリカの元になったスピノサウルスも、サハラ砂漠産。とがった歯を2本並べた型を準備中です。**4月末から提供**できるよう準備を進めています。

郷土資料館 新資料 ふるさと銀河線鉄橋の赤レンガ



ふるさと銀河線は、2005年4月に廃止になり、様々の施設の撤去作業がすすんできました。

100年近く鉄橋を支えていた橋脚や橋台も、今年2～3月に取り壊されました。

このたび、西一線の橋梁撤去の工事を担当した斉藤井出建設株式会社から、70×50cmの赤レンガの塊を提供していただきました。この煉瓦は、下愛

冠にあった登り窯で焼いたものだとされています。足寄のまちの発展を支えた鉄道の鉄橋の橋脚が町内で焼かれた煉瓦でつくられたのです。

しばらくは足寄動物化石博物館で保管します。興味のある方、ご覧になりたい方は化石博物館においでください。

訂正

前号の「デスモチルス類のレプリカを作製中」の記事のなかで、経済産業総合研究所地質標本館と書きましたが、正しくは、**産業技術総合研究所地質標本館**の誤りでした。

休館日 || 4月 7日 14日 21日 28日 の火曜日

博物館の動き 4月 (館の行事や職員の動き、来館団体、など)

5日(日) 探鳥会「北へ飛び立つ鳥たち」
朝7時50分、川向の農協施設前に集合
2時間ほどの観察です。

29日(水) 化石体験レプリカづくり
「恐竜の歯」の提供開始

郷土資料館の開館

4月29日～5月6日
午後1時～4時・・・開館します

4月1日～28日
観覧を希望される方は、化石博物館に
お電話ください。